

令和4年度 第2回乗合バス事業者連絡会議



当社におけるデータの利活用について

西武バス株式会社



(数値は2022年12月末日現在)

西武バスについて

- 1932年12月 埼玉県浦和町（現さいたま市）にて「東浦自動車」として設立
- 1946年 3月 武蔵野自動車株式会社に社名変更
- 1947年11月 西武自動車株式会社に社名変更
- 1969年 4月 西武バス株式会社に社名変更

営業所：東京5・埼玉6

車両：乗合853両（うち高速39両） 貸切12両

社員：乗務員1,357名 事務員332名 整備士101名



当社関連会社



営業所：東京1・埼玉3・長野1
車両：乗合63両（うち高速27両）貸切55両
社員：乗務員132人 事務員39人



営業所：東京1・埼玉5
車両：特定219両
社員：乗務員237人 事務員52人



営業所：東京3・埼玉4（+乗合6両）
車両：ハイヤー32両 タクシー264両
社員：乗務員567人 事務員113人



本日お伝えしたいこと（簡単ではございますが…）

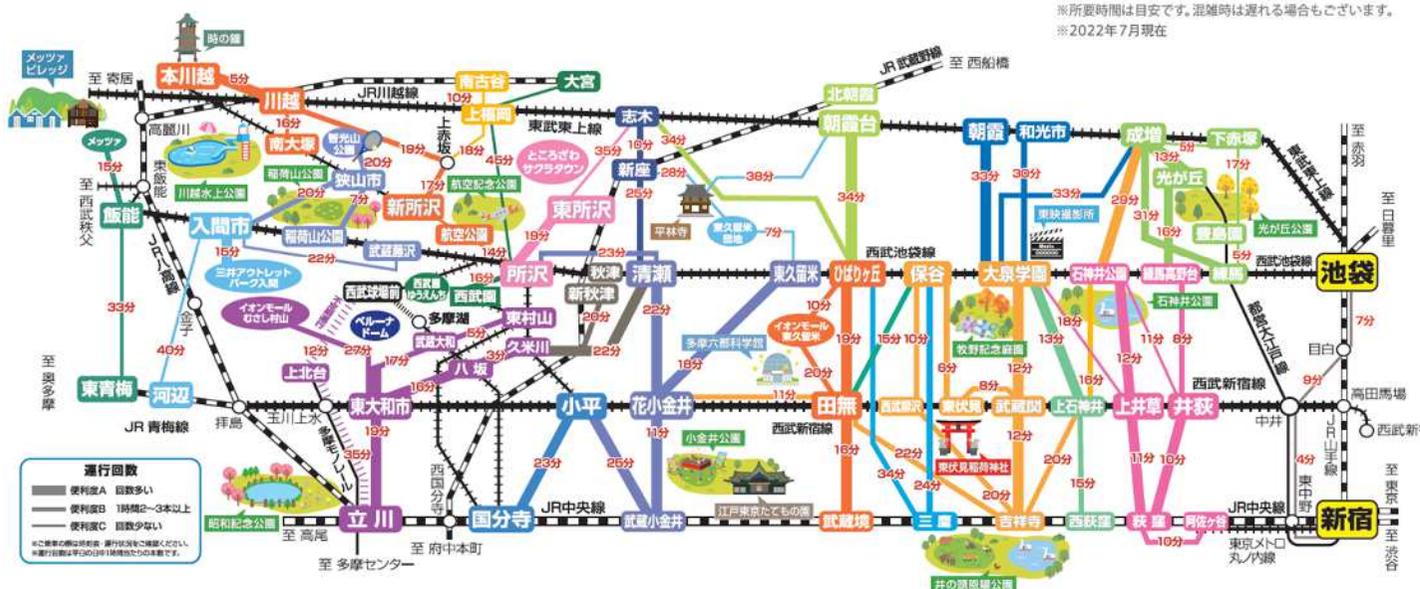
- ◎オープンデータ化までの経緯
- ◎現在のオープンデータの概要
- ◎オープンデータ化後の展望や懸念



◎オープンデータ化までの経緯

当社の目的：**路線バス増収対策の一環**

西武バス **こんなに便利！西武バス アクセスマップ**



東武東上線



西武池袋線



西武新宿線



JR中央線

当社の強みのハズ…

ご利用したいお客さまに
知られているのか??

◎現在のオープンデータの概要

GTFSに対応したデータは全てODPTへ提供済

GTFS-JP (静的データ)

停留所・運行系統
運行時刻・運賃

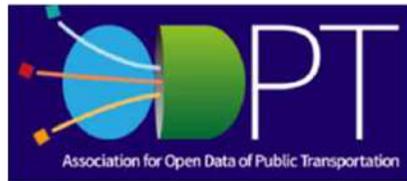
行先LED系統色

GTFS-RT (動的データ)

バスロケ情報



オープンデータ公開先



公共交通オープンデータ協議会



お客さま (エンドユーザー)

事業者側メリット (実務面)
これまで個々に提供してきたデータの一元化
↓
ヒューマンエラー減少 (データ送信忘れ等)
業務負担軽減



グーグルマップ検索例

◎オープンデータ化後の展望や懸念

- 展望
- ・インバウンド向けのサービス提供の可能性（多言語化は自社では厳しい）
 - ・自治体所持データとのリンクの可能性（バリアフリー情報等の広がり）
 - ・既存事業者では思いが及ばないサービスの可能性

- 懸念
- ・オープン化後のデータ管理の問題（事業者対応不可）
 - ・道路混雑時の運行状況の即時反映（各現業での対応次第）
 - ・外国語表記（ローマ字へボン式？）
 - ・費用負担面（補助金制度の拡充？）



Seibu Group

でかける人を、ほほえむ人へ。



ご清聴ありがとうございました。



西武バス公式
マスコットキャラクター

 西武バス